

# 給油装置一覧表



7S : スリム・スモール・ショート・シンプル・スマート・スピーディ・サイレント  
安全・環境保全・低価格・高品質・CS向上

作成、2008.05.02

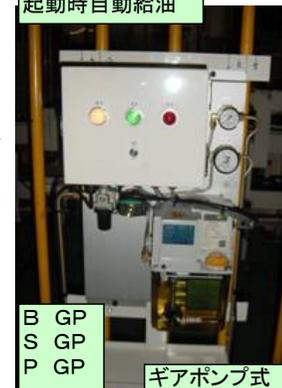
カタログNo 0908-A

No	給油器 タイプ		ノズル タイプ	ポンプ タイプ	タンク 仕様	給油 始停	対象物 代表	仕組み		メリット	デメリット
	型式										
1	自重落下	BM	ブラシ	—	タンク一体	手動	チェン/レール	油タンクを上へ配置し、自重で油を垂らす方式		①安価である。	①微調整が難しく給油量が多くなる。 ②ブラシが直接触れるので磨耗しやすい。
2	自重落下	BA	ブラシ	—	タンク一体	自動	チェン/レール				
3	エア噴霧	TM	噴霧	—	タンク一体	手動	ベアリング	エアで油を送り霧状にして吹付ける方式	給油部で油を補給	①高粘度油でも給油できる。 ②比較的成本安い。 ③奥まで油が入る:短時間で全体に給油がいきわたります。	①空气中にオイルを散乱しやすい。 :給油装置部にカバーを取り付けることで散乱を比較的抑えることが可能です
4	エア噴霧	TA	噴霧	—	タンク一体	自動	ベアリング		タンクを地上に設置できる。		
5	エア噴霧	PT M	噴霧	—	圧送タンク	手動	ベアリング				
6	エア噴霧	PT A	噴霧	—	圧送タンク	自動	ベアリング				
7	戻り定量弁	B GP	ブラシ	ギヤポンプ	地上置き	自動	チェン/レール	連続的な物に適している		①1台のポンプで多数の箇所へも、給油できる。 ②ノズル交換のみで、給油状態を変更可能。 ③エア噴霧に比較して空气中にオイルを散乱させにくい。	①ポンプが遠いと注油タイミングが取りにくい。
8	戻り定量弁	B AP	ブラシ	エアポンプ	地上置き	自動	チェン/レール	定量弁へ油を送り、送り圧を切った時点で油が注油される方式。			
9	戻り定量弁	S GP	ショット	ギヤポンプ	地上置き	自動	ベアリング	狙い撃ちの物に適している。			
10	戻り定量弁	S AP	ショット	エアポンプ	地上置き	自動	ベアリング				
11	戻り定量弁	P GP	パイプ	ギヤポンプ	地上置き	自動	チェン	油を多く給油できる。			
12	戻り定量弁	P AP	パイプ	エアポンプ	地上置き	自動	チェン				
13	直動定量弁	S GP	ショット	ギヤポンプ	地上置き	自動	ベアリング	高圧油を定量弁へ入れ込んだ瞬間に油を吐出する方式。	ピンポイント給油が可能	①高頻度でピンポイント、ジャストタイミングで微量給油が行える。	①ノズルのそばにSOL弁、ACタンク戻りホースが必要 ②タイミング検出器と制御が必要
14	直動定量弁	P GP	パイプ	ギヤポンプ	地上置き	自動	チェン				

給油箇所

- ①ベアリングのボール部
- ②動作する、ピン、リンク、ローラー、プッシュの摺動部
- ③摺りあうプレート部、ドッグ部
- ④レール軌道面

起動時自動給油



B GP  
S GP  
P GP  
ギヤポンプ式

チェンへの噴霧給油



P TM  
P TA  
エアポンプ式

キャリアへのショット給油



S GP  
ギヤポンプ式

キャリアへの  
ブラシ給油



B M B A B AP B GP

キャリアへの  
ショット給油



S AP S GP

注意

- A:ポンプからノズルまでは、鋼管または硬質ビニールホースを使用する。
- B:エアピストンポンプは送り量が決まっているため、ノズル量と距離に制限あり。
- C:抵抗オリフイスをつけると給油量を微量にできる。
- D:コンベアチェンは Coスピード 8m/min以上は、連続給油が 望ましいです。  
噴霧式(TM、TA、PT M、PT A)、ブラシ式(BM、BA、B AP、B GP、) エアポンプ: ≒5m  
ギヤポンプ: ≒30m  
圧送タンク: ≒30m  
を 目安としてください。